

地域女性リーダーの 広域ネットワーク

東北・海外

孤立しがちな東北の若い女性リーダーたちをつなぎ、
互いの活動から学び合い、高め合えるつながりを生み出しています。

こうした事例をシンポジウムやセミナーによって発信し、
草の根の地域活動リーダーが国を越えて学び合える機会にもつながりました。

学び合い
高め合う

グラスルーツ・アカデミー東北
～参加者相互の学びの場



岩手県住田町で2016年2月12日(23名)、陸前高田市で13日(25名)の研修を開催。研修場所や内容の組み立てについて企画段階から研修参加メンバーが関わり、運営も一緒に進めてプロジェクト全体に関わることで、プログラムやロジスティックの精度が高まり、本人たちの経験になりました。研修では、一つ上の視点を獲得するため、米国の著名な地震学者ルーサー・ジョーンズ女史の講義と対話、防災の専門家から講義を行いました。

代表理事の石本が、インドとネパールで開催された国際セミナーに参加し、災害リスク軽減のための女性のリーダーシップ育成について事例報告しました。

南三陸町での視察研修受け入れ
～国際交流の場



JICA(国際協力機構)が主催するアジア7カ国の防災やジェンダーに携わる行政官やNGO代表など21名の研修プログラムを南三陸町でおこないました。4時間のセッションのうち、南三陸町の女性たちのスキルアップ講座(食の仕事勉強会ベジタリアン講座)の見学と交流を行い、料理を囲んでさまざまな話が飛び交いました。

地域を元気にする活動

南三陸町・登米市



ひころマルシェ
～この土地でつづく暮らし

●ここで子育て
～親子が出かけやすい仕掛け

ひころマルシェでは、キッズサポーターたちによる「子どもあそび場」のほか、地域サークルによる「森のようちえん」、ひころの里のシニアが案内する「野草摘み散歩とよもぎ餅親子体験」などの場をつくることができました。オムツ換えテント、授乳テントも好評でした。



オーガニック指向のマルシェとして、9ブースで小さくスタート。2016年5月に「南三陸町 ひころの里」リニューアルにあわせ、販売、体験、飲食、などを含めて計27ブースで開催し、450名の来場者がありました。



出会い
交流する
お楽しみ講座
～趣味でつながる温かい集まり

刺し子、編み物、染め物、手芸のほか、山の神平福祉仮設や奏海の杜での体操教室など開催しました。体操は、福祉まつりにも出展。



第2のふるさとカフェ
～出会いから動きが生まれる

南三陸町の1ターン移住者、Uターン者、二拠点生活の若者をおもな対象にした、未来をつくる交流ワークショップ。NPO法人 bondplace および町内の(社)南三陸町deお買い物と共にしています。今年度はここからはじまった「みなみさんりくブックス」により、かもしか文庫が設置されました。



力をつける
ひとり親サポーター養成講座
～シングルマザーの会も参加

仙台市、登米市、南三陸町、石巻市、大崎市などのシングルマザー当事者、支援専門機関相談員、NPOスタッフ、県職員、メディア関係者、キッズサポーターなど、2日間でのべ48人が参加。支援者と当事者が共に学ぶ貴重な機会となりました。毎月開催しているシングルマザー当事者の会「wawawa」メンバーも準備段階から参加し、大きな力になってくれました。



スキルアップ講座
～具体的に役立つ学びを

食、商品づくり、販促分野で小さなビジネスに具体的に役立つスキルアップ講座・研修を、当事者への聞き取りをもとに企画し、計24回開催。観光協会のショップ出店者を中心とした勉強会や、リクエストが多かった珈琲の淹れ方講座、また、10回をかぞえたパン職人育成研修で生まれたグループは、マルシェでパンの販売を行いました。

